

All About American Hot Rod & Custom Motorcycles

CHOPPER

SEP
2013 13

2013年9月号

Journal

チヨッパー・ジャーナル
2013年9月27日発行第2巻13号(通巻13号)



Custom Exhibition
カスタムバイク・エキシビジョン

Custom Builders Story
gee motorcycles Yosimasa Aoki

カスタムビルダーズ・ストーリー
ジーモーターサイクルズ 青木 叔将

北海道から九州まで全国の最新カスタムを徹底網羅!

チヨッパー魂の心を洗うこの一冊!!



Fに21°、Rに18°の構成に加え、傾斜を持つライトからトップラインを下げたタンク、フェンダーに至るまで美しいラインを見せる。

TRIJYA

Lucifer

文=黒川鏡仁 text by TED KUROKAWA 写真=渡辺まこと photographs by MAKOTO WATANABE
取材協力=トライジャ phone 072-970-3110 <http://www.triija.com>

ラバーマウント、インジェクション仕様のXL883Rをベースに、ソフティル的な性格を持ったクルーザーとしての方向性を持たすべくカスタマイズされたというこのマシンは、大阪のトライジャによって手掛けられた一台だ。

フロントに21"、120ワイドのタイヤ、リアには18"、240ものワイドタイヤを履かせ、グラマラスな骨格で構成されるその車体には、艶しくもスタイリッシュなハンドメイドのタンクとフェンダーとが肉付けされ、その表面にはマットブ

ラックを絡め、コントラストを表わした漆黒のペイントで包まれている。激しく手を加え、コストを掛けたカスタムではあるが、その全体に見られる完成度の高い造り込みと、巧みなパーツのコーディネートとセットアップゆえか、なんら不自然さを感じさせることもなく、シックで、品格ある仕上がりに纏め上げられている。その様こそは、やはり創る側の力量と経験値、センスあってのことだろう。

まさに“粹”というに相応しい、素晴らしいマシンである。

①ストックの883Rにサンダーマックスの点火ユニット、エアクリナーはトライジャの“刻美”で飾られている。②エグリの効いたフェューエルタンク。その凝った造形に加え、マットと艶でコントラストを造ったペイントが施されている。③リアのワイド化に併せ、大きく外側へ出されたマフラーはV&Hの加工品。④リアサスはオーリンズ、18×240のホイールは刻美の3スポーク。ブレーキはキャリパー、ローター共にネス製。⑤造形を凝らしたスタイリッシュなシートはワンオフ。⑥トップブリッジ上のデジタルメーターを挟む様に組まれたセパハンに、ピレットのコントローラーの組み合わせが秀逸なレイアウトを見せる。

